**自事業所におけるサビ児管の助言指導について**

自事業所において、「支援に行き詰った（悩みのあった）ケース」に対して、あなたがサビ児管として、支援員等に支援に係る助言指導を行った実例 （又は支援員等として、サビ児管に支援に係る助言指導を受けた事例）を一つあげて、以下の項目に沿って報告してください。

　・ サビ児管の方…自事業所において、支援員等からケースの相談を受け、助言指導を行ったこと

・ 支援員等の方…自事業所において、サビ児管に対しケースについて相談し、助言指導を受けたこと

**受講番号（　　　　　　　　）　　受講者氏名（　　　　　　　　　　　　　）**

**１．支援に行き詰った（悩みのあった）ケースの概要**

①年齢（　　　　歳）　　②性別（　　　　）　　③障害種別（　　　　　　）　　④利用サービス（　　　　　　　　　　　）

⑤主な生活歴（　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

⑥本人の状況（　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

⑦主な支援内容（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**２．上記のケースへの助言指導の内容**【□サビ児管の立場 　□支援者の立場】 いずれかにチェック

　 　①相談の概要（タイトル）

②助言したこと（されたこと）

|  |
| --- |
|  |

**３．サビ児管として助言指導したこと、又はサビ児管から助言指導されたことから…**

→サビ児管の方…どんな視点をもってアドバイスしたか （どんなことを大切にしているか）

　　　→支援員等の方…サビ児管にどんなアドバイスを期待したか　（どんなことを大切にしたいと思うか）

|  |
| --- |
|  |

**自事業所におけるサビ児管の助言指導について（記入例）**

自事業所において、「支援に行き詰った（悩みのあった）ケース」に対して、あなたがサビ児管として、支援員等に支援に係る助言指導を行った実例 （又は支援員等として、サビ児管に支援に係る助言指導を受けた事例）を一つあげて、以下の項目に沿って報告してください。

　・ サビ児管の方…自事業所において、支援員等からケースの相談を受け、助言指導を行ったこと

・ 支援員等の方…自事業所において、サビ児管に対しケースについて相談し、助言指導を受けたこと

**受講番号（　　　　　　　　）　　受講者氏名（　　　　　　　　　　　　　）**

**１．支援に行き詰った（悩みのあった）ケースの概要**

①年齢（　　４　歳）　②性別（　男　）　③障害種別（　知的障害　）　④利用サービス（　児童発達支援　）

⑤主な生活歴

（　１歳半健診で発達の指摘あり。親子教室を経て、児童発達支援を利用。転居に伴い利用先変更。　）

⑥本人の状況

（　２歳位の発達。Ａくんの泣き声に拒否行動が目立ち、髪の毛を抜く行為も出始め、母親も心配。　）

⑦主な支援内容

（　自発性を促しながら、身体を動かしたり、遊びを通じた友だちとの親しい関わりを持たせている　）

**２．上記のケースへの助言指導の内容**【☑サビ児管の立場 　□支援者の立場】　いずれかにチェック

　 　①相談の概要（タイトル）

　　　　　『Ａくんの泣き声から、友だちと同じ部屋で過ごせないＣくんへの対応』

②助言したこと（されたこと）

|  |
| --- |
| ・Cくん自身はいまどんな気持ちでいるか、いろいろな角度から深く考えてみること  ・普段のCくんの様子も含めて、Ｃくんの良いところ（違った側面）にも着目してみること  ・いま生じている問題を除去するだけにならないように、アプローチによって解決を試みること  ・あらためて個別支援計画書を見返してみること（今の状況と関わりを整理し共有すること） |

**３．サビ児管として助言指導したこと、又はサビ児管から助言指導されたことから…**

→サビ児管の方…どんな視点をもってアドバイスしたか （どんなことを大切にしているか）

　　　→支援員等の方…サビ児管にどんなアドバイスを期待したか　（どんなことを大切にしたいと思えたか）

|  |
| --- |
| ・支援者の価値観（あるべき姿）にとらわれず、まずは本人の思いの理解に努めること  ・一人の支援者の思いだけで支援の方向づけをしないこと（支援方針を確認し合っていくこと）  ・他者の関わり（見立て）やこれまでの記録なども参考に、客観的にものごとをとらえること  ・その場限りの支援ではなく、その後の暮らしや環境の変化を見据えて今の関わりを考えること |